

第 47 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議事概要

開催日	令和 2 年 2 月 19 日 (水)	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 鈴木 幸弘 (独立行政法人国民生活センター監事) 委員 山内 容 (弁護士) 委員 竹内 啓博 (公認会計士・税理士) 委員 岩田 三代 (独立行政法人国民生活センター監事)	
抽出案件	3 件	(備考) ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・岩田委員から、第 3 四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・一者応募かつ落札率 90%超の契約、落札率 90%超の契約について審議対象とした旨報告した。
(内訳)		
一般競争入札	3 件	
公募	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	令和元年度第 3 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】東京事務所における派遣業務 情報システム運用管理業務（情報管理部情報システム課）</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の調達以外に、情報システム課に派遣職員はいるか。・Windows 及びLinux の両方に対応可能な人材を2名調達するのではなく、Windows に対応可能な者を1名、Linux に対応可能な者を1名ずつ、それぞれ調達しないのはなぜか。	<ul style="list-style-type: none">・PI0-NET の運用を担当している者としては、1名在籍している。・システムの構成上両OSが混在しているので、一方だけの対応可能な人員では、障害発生時の対応が困難となるため。
<p>【事案2】フーリエ変換赤外分光光度計（FTIR）一式の購入</p> <ul style="list-style-type: none">・応札者から提出のあった見積書は、すべて予定価格の検討資料とするべきではないか。	<ul style="list-style-type: none">・御指摘の点を踏まえて今後対応することとした。
<p>【事案3】独立行政法人国民生活センター相模原事務所で使用するガスの供給</p> <ul style="list-style-type: none">・予定価格はどのように作成したのか。	<ul style="list-style-type: none">・東京ガスの供給約款に基づき、前年度の使用実績を参考に作成。